

2025 年第 17 週の報告です。

定点報告感染症は、**感染性胃腸炎**と**伝染性紅斑**が先週の警報レベルの地域では今週も継続して警報レベルになっています。また新たに山城北で**咽頭結膜熱**が警報レベルとなりました。

全数報告対象疾患は、**結核**が 8 件、**レジオネラ症**・**ウイルス性肝炎**・**クロイツフェルト・ヤコブ病**・**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**・**侵襲性インフルエンザ菌感染症**・**麻しん**がそれぞれ 1 件、**侵襲性肺炎球菌感染症**が 4 件、**梅毒**が 2 件、**百日咳**が 34 件報告されました。

麻しん（はしか）の発生が 3 週連続で報告され、既に昨年 1 年間の府内報告数と同数の 4 件になりました。同様の傾向は周辺の自治体や国内・海外でもみられ、第 17 週の時点で大阪府 14 件（昨年合計 11 件）、兵庫県 8 件（昨年合計 4 件）、そして全国では第 16 週の時点で 83 件（昨年合計 45 件）といずれも昨年を上回るペースで増加しています。海外でも、アメリカで 884 件（4 月 24 日時点。昨年合計 285 件）などと大幅な増加が報告されています。2025 年の日本国内における麻しん発症例の推定感染地域は、第 16 週の時点で、1 位がベトナムの 30 件、2 位がタイの 3 件などとなっており、これらアジアの国々でも麻しん患者の増加が問題となっています。万博などで訪日外国人旅行者の数が増えており、一方国内はゴールデンウィークで海外に行かれる方もいらっしゃると思います。麻しんは世界で流行している感染症です。先進国でも 1000 人に 1 人が死亡すると言われていますが、麻しんはワクチン接種で防げます。感染が心配な方、海外渡航を予定している方は麻しんの予防接種歴を確認のうえ、定期接種が未接種の場合は接種を検討してください。

▶麻しんに関する詳しい情報はこちらをご参照ください。[京都府：疾患別情報 麻しん](#)